

## 東邦銀行と市が、復興に向け連携



東日本大震災からの復興や地域の活性化、市民サービスの向上を目的に、東邦銀行と市が包括連携協定を締結しました。

締結式は4月24日に市役所で行われ、北村頭取と富塚市長が協定書に署名しました。

今後は「東日本大震災からの復興および災害対策に関すること」や「市の経済活性化に関すること」、「地域製品の販売・観光の振興に関すること」、「地域・暮らしの安全・安心に関すること」、「その他地域社会の活性化・市民サービスの向上に関すること」について相互に連携した取り組みを進めます。

## 牧野地区に咲き誇れ「黄色の大輪」



大越町牧野地区で「ひまわり会」主催のひまわり種蒔きイベントが5月3日に開かれました。

福島ひまわり里親プロジェクトから、ひまわり会・大越まちづくり協議会へひまわりの種を手渡す「きずな種寄贈式」が行われ、約80人が参加しました。イベントでは「結婚記念種蒔」として婚約カップルの種蒔きも行われ、参加した皆さんは夏に大きく花開くひまわりを楽しみに思い描きながら、種を蒔く作業に汗を流しました。

## 水面に映る桜を堪能



常葉・都路公民館合同事業のハイキング教室が4月26日に行われ、伊達郡桑折町の半田山自然公園を散策しました。参加者は、半田沼に映る遅咲きの桜と新緑の美しい景色、カタクリ、ニリンソウなどの野草を楽しみながら、爽やかな風を受けハイキングを満喫しました。

お昼は「うぶかの郷」の美肌の湯で疲れを癒し、参加者同士で親睦を深め、楽しい1日を過ごしました。

## 山火事防止でパレード



田村市山火事防止パレードが4月18日、市総合体育館で行われました。出発式では志村副市長が「地域社会から火災を出さないよう啓発活動をお願いします」とあいさつし、担当者が実施上の注意事項を説明しました。式終了後、参加者30人が車両20台に分乗して、滝根町・大越町方面(第1班)、常葉町・都路町方面(第2班)、船引町方面(第3班)に分かれ、無火災の広報とともに注意を呼びかけました。

## 桜も笑顔も満開



常葉町小檜山地区の老人会は4月27日、趣向を凝らした花見会を開きました。会場となった地区公民館には、会員の山で要らなくなった本物の桜の木が切り出され、和室の中央に飾られました。

参加者は満開の桜を見ながらカラオケ大会やビンゴゲームを楽しみ、おいしい料理と飲み物、和気あいの語らいを満喫するなど笑顔も満開の1日になりました。

## 園庭で優雅に泳ぐ、こいのぼり



穏やかな陽気に恵まれた4月22日、常葉保育所でこいのぼり掲揚式が行われました。式では富塚市長のあいさつの後、代表の3歳児どう組の本田珀斗さんと石井万愛さんに記念品のお菓子がプレゼントされました。

こいのぼりの掲揚では園児約50人と保護者約15人、保育士が童謡「こいのぼり」を合唱。富塚市長も参加してロープを引っ張ると、大きなこいのぼり2匹と吹き流し、約50匹のこいのぼりがさわやかな風を受け優雅に泳ぎました。子どもたちは空に舞うこいのぼりに向かって大きくジャンプするなど感激した様子で、園庭に元気な声を響かせました。こいのぼりと一緒に記念撮影では、園児全員が満面の笑みを見せました。

## スポーツへの誓い新たに



田村市スポーツ少年団の結団式が4月29日、市総合体育館で行われました。式には市スポーツ少年団に加盟する20団体の団員や指導者、保護者の約400人が参加しました。

初めに三瓶智恵本部長が「結団式で気持ちを新たにして新年度の活動に取り組んでほしい」とあいさつ。来賓の教育長と市議会議員が祝辞を述べました。

続いて、本部長から滝根、大越、都路、常葉、船引支部の代表単位団へ団旗の授与が行われました。支部長がそれぞれの団体を紹介し、各単位団は支部長が団名を呼ぶと元気な声とともに起立しました。

式終了後は、運動能力適性テスト(立ち幅とび・上体起こし・腕立伏臥腕屈伸・時間往復走・5分間走)を行い、団員たちは自分の体力と運動能力をチェックしながら上級合格を目指し持てる力を発揮しました。

